

<p>科目名：公衆衛生学</p>	<p>必</p>	<p>2 単位</p>
<p>(Public Health)</p>		
<p>履修年次/時期：2 年次 後期 授業形態：講義</p>		
<p>担当教員：戸田 真司（実務経験有）、宋 文群（実務経験有）</p>		
<p>学修目的</p>	<p>衛生学は疾病を予防し、健康を保持増進することによって人としての機能や能力を十分発揮できるようにするための学問であり、健康と予防医学の概念や人を取り巻く自然・社会的環境と健康との関係や集団を対象とした疾病予防と地域保健活動について学修する。具体的には、生活環境の変化による健康影響、健康に係わる地域の役割、ライフステージに対応した地域保健活動について修得する。</p> <p>DP 2 (2) に関連する。CP 2 に関連する。 科目 No.KSI-201</p>	
<p>到達目標</p>	<p>生活環境や公衆衛生の現状を学修することで、社会生活・社会制度のもとで健康を保持増進するために必要な知識と技術を修得し、他医療職と連携をとりながら地域住民に対する疾病予防と健康増進を支援するとともに、地域社会で保健活動を実践することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 公衆衛生の概念、疫学研究について説明できる。 ② 地球環境、食品衛生、住居環境と健康について説明できる。 ③ 廃棄物処理について説明できる。 ④ 感染症とその予防を説明できる。 ⑤ 生活習慣病とその予防を説明できる。 ⑥ 学校保健、職場の健康管理について説明できる。 	
<p>授業概要</p>	<p>講義：公衆衛生の概念、疫学、地球環境、生活環境、感染症、生活習慣病、学校保健、産業保健について学修する。</p> <p>授業は教科書を中心に解説し、必要な資料を配布し、スライドや黒板を適宜使用する。</p> <p>学生諸氏はシラバスに沿って予習をするとともに、用意された予習課題に取り組む。また、予習課題とともに復習課題を毎回用意するので、授業ごとにできるだけ早いタイミングで事後学習に取り組み、得られた知識を整理し修得する。</p>	
<p>評価方法</p>	<p>学期末本試験（100 点満点）</p> <p>授業への参加度および課題の実行度に応じて加点を行う。</p> <p>授業中の私語や指示のない携帯端末の使用など、不適切とみなされる受講態度が認められる場合には減点を行う。</p> <p>試験に対するフィードバックを行う際には、個別対応でなく掲示にて行う。</p>	
<p>予習・ 復習時間</p>	<p>【予習】 2.0 時間</p> <p>【復習】 2.0 時間</p>	
<p>教科書</p>	<p>医療スタッフのための衛生学エッセンス -2022/2023- (学建書院) 第 6 版</p>	
<p>参考書</p>	<p>講義中に紹介します。</p>	
<p>問い合わせ 連絡先</p>	<p>戸田真司：月～金曜日 12:40～13:20 16:40～17:00 4 号館 2 階（戸田研究室） toda.s@kdu.ac.jp</p> <p>事前にメールをいただくと円滑に対応できます。</p> <p>宋文群 月～金曜日 16:40～17:00 第 2 研究棟 4 階 口腔衛生学第 1 研究室 song@kdu.ac.jp</p> <p>事前にメールをいただくと円滑に対応できます。</p>	